

# たかし

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 人間の不完全さと弱さ

校長 加納 直樹

先日、精神科の医師のお話を聞く機会があり、そこで印象に残ったメッセージがありました。それは人間は皆、不完全で弱い生き物だというお話でした。そのままを紹介いたします。

人間は皆、不完全です。弱さだけでなく愚かさや身勝手さを抱えています。そもそも、人は皆、人生の初心者です。全ての人生は1回目です。たとえ人間社会で知識が蓄積され伝達されるとしても、学び、成長していくためには時間もかかるし、努力も必要です。子供への虐待は大きな課題ですが、子育ては簡単なものではないし、支援なしでできるものでもありません。人間は不完全な人間に育てられ、不完全な人間となって、次世代の人間を不完全に育てていくしかないのです。

こういった弱さや、不完全さの認識は、自然や宇宙に対しての謙虚さ、他者(他の生命体)への寛容さ、優しさ、ひいては平和な社会への希求にもつながりうるはずです。

ご存じの方も多いとは思いますが、本校には言葉の通級指導学級(ことばの教室)と特別支援教室(たかし教室)があり、7名の専門性の高い教員が子供たち一人一人の特性やニーズに合わせた教育活動を充実させています。

1週間に1度の貴重な時間だからこそできることや教育的効果はたくさんあります。

- 1 児童自身への直接的な「教育支援」だけでなく、児童の生活や環境(学びの場)にも働きかけた支援がなされる
- 2 外での活動を支える「足場」を作る
  - ・児童自らが、発見することを体験する
  - ・児童に、安心・勇気・自信・意欲が生まれる
  - ・児童が、自分に合った学び方や解決方法を身に付ける
- 3 個別最適化された学びの時間は、児童の1週間の生活に続く
- 4 日常から適度に離れ、守られた場で、自分を表出する
- 5 児童の成長や変化に担当教員が気付く

など、効果的な指導を日々継続しています。

特別支援の担当教員に限らず、私たち高四小の教職員一同、一人一人の児童の生活や文化を理解し、教材や教育技法を工夫しながら、全員が協働して教育活動を進めてまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。